

[illegible]







秋田市外旭川郷土史 ー語りつぐ外旭川のあゆみー  
 ふるさと秋田市  
 名勝旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯庭)庭園保存管理計画書  
 近代化遺産 国有林森林鉄道全データ(東北編)  
 旭川歴史散歩

文化財イラストマップ 秋田市泉(五庵山)・手形地区編

## あきたのまち再発見 ぐるっと文化財マップ

見て楽しい、歩いて楽しい



泉は「湧き水」のことで、五庵山と前面の平地とが交わる辺りから、湧き水が見られたと言われています。  
 農村地帯が広がっていた泉地区は、上流からいかで流されてくる木材や薪炭などを役人が検収する重要な関所でした。泉で検収を終えた木材は、旭川と雄物川の合流点にある川口の材木置場まで運ばれました。



### 保戸野八丁について

隣接する旧泉村の小字で、天徳寺街道の八丁から命名されました。天徳寺から八町(約872m) 離れている、という意味です。

### 手形休下町について

休下町の北端旭川の岸に藩主のお休み処と、その下に御休橋がありました。御休下町の名は、この御休に由来しています。



三吉梵天祭(けんか梵天)

毎年1月17日、五穀豊穡や家内安全などを祈念し、力の神にあやかろうと勇壮に先陣を争いながら、梵天と呼ばれる依代を奉納します。



泉堰

旭川の上流から分水し、泉・保戸野を経て川尻で太平川に流れる灌漑用水路。初代藩主佐竹義宣が改修を命じており、当時から存在していたことを窺い知ることができます。



飲山亭

秋田藩主佐竹氏の雪見御殿跡。名前の由来は、酒盃に写った太平山の姿を飲み干すことから言われています。



庚申講

庚申日には、寝ている間に体内にいる三尸(道教で、人の体内に住んでいるという3匹の虫)が天に昇り、天帝に人間の悪行を告げ、早死にさせられるといひます。それを防ぐために、寝ずに集まって勤行と会食を行います。

江戸のおもかげあれこれ





庚申講

庚申日には、寝ている間に体内にいる三戸(道教で、人の体内に住んでいるという三匹の虫)が天に昇り、天帝に人間の悪行を告げ、早死にさせられるといわれます。それを防ぐために、寝ずに集まって勤行と会食を行います。



太平山講

太平山を信仰し、登山を信仰上の行事としていることから、年に一度は太平山に登りました。石塔を建立したり、祠を祀るなどしました。



久保田三十三番観音霊場(札打ち)

毎年1月15日の夜から16日にかけて、3年以内に亡くなった近親者の戒名を木札に墨書し、観音霊場を1〜33番までを巡回します。1番札所…熊野神社、2番札所…関信寺、3番札所…本念寺の順に札打ちをします。



平田篤胤墓前祭

毎年8月24日には、彌高神社関係者や地元住民などによって墓前生誕祭が行われています。